

これから求められる資質・能力とは

グローバル化や人工知能(AI)などの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子供たちには自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学習指導要領では、教育課程全体や教科等の学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱からなる「資質・能力」をバランスよく育てていくことを目指しています。

資質・能力の三つの柱

学びに向かう力、人間性等

- 学びに向かう力や、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力など
- リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど

知識及び技能

- 各教科等に関する個別の知識や技能など

実際の社会や生活で生きて働く

「知識及び技能」

学んだことを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力、人間性等」

未知の状況にも対応できる

「思考力、判断力、表現力等」

思考力、判断力、表現力等

- 問題を発見し、解決を図り、そのプロセスを振り返って次の問題発見・解決につなげていくことや、協力しながら問題を解決していくことのために必要な力など



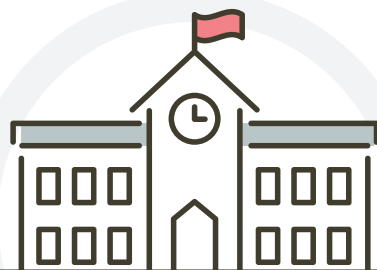
次のような
児童の姿が学校で見られるようになっていきます。



私はこう考えたのだけれど、あなたはどう思う？



難しいけど、最後まであきらめなくて考えよう



“自立した学習者”の育成

何から始めればうまくいかな



答えは合っていたけど、途中の式はどうか？



+ - × ÷

